

さまざまな人が支え合う お互い様の地域づくり 事例集

草津市

- 宅老所心「かやぶき心」
- 地域支え合い活動拠点「ゆかい家」
- 宅老所心「お助け隊」

「かやぶき心」で居場所づくり

居場所
子ども食堂

草津市



■活動内容

- ・かやぶきランチ:地域の人の交流の場として食堂を開催、ランチ・コーヒーを提供
毎週火曜日と第1、第3木曜日の11時から15時頃
第1火曜日と第3木曜日は、認知症の人と家族の会が来られ懇談や相談
ランチ500円、コーヒー100円
- ・地域居酒屋:地域の人の交流の場として地域居酒屋を開催
第1、第3金曜日の18時から20時頃
7種類程度の料理を提供
1000円(飲み物は原則持ち込み)
- ・子ども食堂:地域の子どもの食事と居場所を提供
第2、第4木曜日の16時30分から19時頃
子ども100円、大人300円

■団体名

特定非営利活動法人 宅老所心
理事長 村田美穂子

■参加者

地域住民

■活動拠点 連絡先

草津市駒井沢町343番地
TEL: 077-568-3186 FAX: 077-558-8225
mail: kokoro115@triton.ocn.ne.jp



■活動のきっかけ・実現までの経緯

地域の方と地域包括支援センター、当法人が集まって地域の中でどのようなものがあればよいかなどを話し合ってもらいました。

その中で、居場所と助け合いが必要との意見が出たことから、当法人の事業として地域の方の協力をいただきながら、法人がスタートした「かやぶき心」で居場所づくり事業を実施することとなりました。

- H22 地域における話し合い
- H26. 8 地域居酒屋
- H28. 6 ランチ
- H30. 2 子ども食堂



利用者さんの声

- ・地域の中で居場所や仲間ができて、「ここに来ればみんなに会える」という安心感ができた。
- ・かやぶき心に来て、ご飯を食べながら色々な話をしてくるのが楽しみのようになった。
- ・普段生活しているだけでは聞けないような話が聞き、地域の情報などを知ることができて生活していくうえでも役に立つ。

活動者の声

「食を通じた地域づくり」をテーマに行っています。「食べること」で自然と笑顔がこぼれ、会話も弾み、徐々にですが広がりを見せていると思います。

居酒屋のスタッフも地域の人と一緒に話をさせていただく中で、知らない地域の情報を教えていただき勉強にもなっています。

また子ども食堂のボランティアさんも、一人暮らしで普段なら10分もかからない夕食が、子どもたちと話しながら食べていると、楽しく生活の張りもでてくるとおっしゃっていただいています。子ども食堂では大学生もボランティアに来ていただいています。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

居場所は一つあればいいというものではありません。色々な地域に多様な居場所ができていくことを願います。

居場所

草津市

笑顔が笑顔を生む、愉快的な「ゆかい家」

■活動内容

草津学区社会福祉協議会では「支える喜び、支えられる幸せ、笑顔咲き誇れ！」をスローガンに、ひとりでも多くの方々に「楽しい」を届けられる活動を進めています。立ち寄りカフェ「ゆかい家」は、地域の縁側として、誰でも立ち寄って笑顔になれる居場所です。

【実施日】毎週火曜日～日曜日

- ・ワンコイン(500円)ランチ
- ・歌声カフェ ・囲碁カフェ ・脳活カフェ ・カラオケカフェ
- ・健康バンド ・グラウンドゴルフ
- ・・・など、介護予防の観点から様々な活動を実施しています。



■団体名 草津学区地域支え合い活動拠点 立ち寄りカフェ「ゆかい家」

■参加者 誰でも（学区外の方も）

■活動拠点
連絡先 草津市草津3-13-70
TEL：080-4648-2948



■活動のきっかけ・実現までの経緯

とじこもりがちな高齢者の方々が気楽に出かけられる場所が必要だと思い、仲間づくりや地域参加のきっかけになればと考えました。

カフェは平成24年3月に開所。当初はコーヒー等の飲物だけの提供でしたが、半年後からワンコイン(500円)ランチを始めました。

今年で7周年を迎え、感謝祭を行う予定です。喜んでくださる方がいる限り、継続していかなければと思っています。



利用者さんの声

- ・ワンコインランチは好評（1日25～30食を提供）
- ・ここに来たら誰かに出会えて、楽しいおしゃべりができてうれしい。
- ・障がいのある方からは、「ここは安心して来られる場所」との声を聞いています。

活動者の声

ボランティアは15名。みんな仲良く楽しみながら活動しています。ボランティアにとっても大切な居場所になっています。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

毎月「ゆかい家NEWS」を発行し、学区内の町内回覧をお願いしています。様々なイベントを開催していますが、各々、参加者主体で運営がなされています。ゆかい家のボランティアはその補助を行い、お互いが必要とされているという意識を持つことが出来ています。

「笑顔は笑顔を生む」 笑顔を忘れず、これからも愉快的な「ゆかい家」であり続けたいと思っています。

草津市



■活動内容

介護保険の小規模多機能型居宅介護や地域密着型デイサービスなどを運営するとともに、居場所づくりや助け合い活動などを実施しています。
子どもから高齢者まで地域で暮らすすべての人が、安心してこの地域で暮らしていただくと思える地域づくりを展開しています。

・助け合い事業(お助け隊事業)

地域の人の困りごとに、有償ボランティアさんができる範囲でお手伝い
宅老所心がコーディネートを行い、事前に登録したボランティアさんを派遣
お手伝いの内容は、掃除、買い物(代行や同行)、草刈りなど

料金は1人1時間あたり900円、その他内容により金額は変わります。

■団体名

特定非営利活動法人 宅老所心
理事長 村田美穂子

■参加者

地域住民

■活動拠点
連絡先

草津市駒井沢町343番地
TEL : 077-568-3186
FAX : 077-558-8225
mail : kokoro115@triton.ocn.ne.jp

■活動のきっかけ・実現までの経緯

地域の方と地域包括支援センター、当法人が集まって地域の中でどのようなものがあればよいかなどを話し合ってもらいました。

その中で、「居場所と助け合いが必要」との意見が出たことから、当法人の事業として地域の方の協力をいただきながら、助け合い事業(お助け隊事業)を立ち上げました。

H22 地域における話し合い
助け合いサポーター養成講座開催
助け合い事業開始



利用者さんの声

・買い物や病院に行くのに困っていたので、付き添っていただき助かる。

・草刈りや庭木の剪定など手間のかかることから、電球の交換などちょっとしたことまできめ細やかに助けていただいている。

活動者の声

ボランティアさんも「自分が助けてほしい時にはお願いしたいので、できる間はがんばる」と言っています。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

地域の人同士の助け合いなので、「それぞれのできる範囲です」「無理はしない」が事業を継続するコツだと考えます。公的サービスでは対応しきれない部分が生活の中では必ず出てきます。そのニーズは、今後ますます必要になってくると思います。

ちょっとした困りごとに手が行き届くよう、地域の方とともに助け合いの輪を広げていきたいです。